【1所在地及び病院名】

|  |
| --- |
|  |

【2施設概要】

|  |  |
| --- | --- |
| 主たる医療機能の特徴 |  |
| 入院基本料 |  |
| 職員総数 |  |
| 病床数 |  |

【3取組タイトル】

|  |
| --- |
|  |

【4取組課題】

|  |
| --- |
| □働き方・休み方に関する課題□職員の健康支援に関する課題□働きやすさ確保のための環境整備（ソフト・ハード）に関する課題□働きがいの向上に関する課題 |
| 【5取組内容】 |
| □医師と看護職員との業務分担　□医師・看護職員とコメディカルとの業務分担　□医師事務作業補助者の配置　□看護補助者の配置　□常勤・非常勤医師の増員　□短時間勤務の導入　□医師の交代勤務制の導入　□「当直」に関する勤務シフトの工夫　□外来時間の短縮・外来機能の縮小　□他の医療機関との連携　□薬剤師の病棟配置　□職員のメンタルヘルス対策・ハラスメント対策　□子育て中、介護中の職員への配慮（院内保育所の整備、残業の免除、休暇制度の充実など）　□職場復帰支援　□キャリアアップ支援　□ワークライフバランスに取り組む組織風土・体制作り（長時間労働の抑制、年次有給休暇の取得促進の取組を含む）□給与・手当等の処遇改善 |
| 【6取組のきっかけ、取組前の問題点】 |
|  |

【7取組の体制・中心人物】

|  |
| --- |
|  |

【8取組の概要】

|  |
| --- |
|  |

【9実施後の成果や見えてきた課題】

|  |
| --- |
|  |

**（１）働き方・休み方改善**

◆ 労働時間管理

時間外労働の削減、１回あたりの最長勤務時間の削減、休暇の取得促進、夜勤負担軽減策（夜勤明けの朝帰り等）、勤務と勤務の間隔確保　など

* 医師の負担軽減：

多様な勤務形態（短時間勤務、交替制勤務、連続当直を行わない勤務シフト、主治医制度見直し等）、給与・手当の処遇改善、チーム医療の徹底（補助者の活用等）、他職種との連携・業務分担、その他の負担軽減（ＩＣＴ機器、医師の確保等）、地域医療連携（診療所との外来業務の分担等）

* 看護職、コメディカルの負担軽減

復職支援制度、雇用形態や勤務形態選択可能な制度、健康安全に配慮した夜勤・交代制シフト、診療・薬剤・検査・事務部門等関連部門との連携、コメディカルの把握　など

**（２）職員の健康支援**

◆ 職員の生活習慣病対策：健康診断の受診率向上等

◆ メンタルヘルス対策：相談窓口、復職支援プログラム等

◆ 作業環境対策：腰痛対策、眼精疲労対策

◆ 有害物質対策、感染症対策　など

**（３）働きやすさ確保のための環境整備（ソフト面・ハード面）**

◆ 仕事と子育て・介護との両立支援：

院内保育所や学童保育等の整備、休憩スペースの設置、情報共有システム導入、保育・介護サービス利用料の補助、短時間正社員制度の導入、育児・介護に係る休業・休暇制度の充実、男性職員の育児休業取得　など

* 職員の安全確保（暴言・暴力等への対策）：

警備員の配置、相談窓口の整備、対応マニュアルの整備　など

* いじめ・ハラスメント対策

相談窓口の設置、関連する研修の実施

* 職場の風土・環境の整備：

職員向け院内アメニティ（仮眠室、休憩室等）の整備　など

* 人材の定着化の視点：

定期面談等による職員の事情や希望の把握、職員の事情等に配慮した配置や業務分担

**（４）働きがいの向上**

◆ 専門職としてのキャリアアップ支援：

研修等への参加奨励、子育て等と両立しながらの勤務の継続に関する相談窓口の配置　など

* 人事異動によるキャリアアップ：

法人内での人事ローテーション

* 休業後のキャリア形成：

産休・育休復帰後のキャリア形成、産休・育休中の職員の円滑な復職支援　など

**４つの領域における取組メニュー**